「世界中の皆さん、2030年の国際博覧会はぜひ釜山で」

韓国政府、2030国際博覧会の釜山誘致を公式宣言…国際都市釜山の魅力を伝え、支持を呼びかけ

■釜山市、国際博覧会の開催地に立候補

韓国政府は2020年12月1日、非対面で開催された「第167回 博覧会国際事務局(BIE)総会」で、「2030国際博覧会」を釜山広域市に誘致する意思を正式に表明した。開催地としての釜山の魅力や、未来のビジョンなどを提示するとともに、開催に向けて政府が全面的な支援に取り組む意思を表明。BIE会員国への支持を呼びかけた。総会ではロシアの首都・モスクワも開催誘致を表明、誘致合戦がスタートした。

韓国政府は年内に国際博覧会の具体的な計画を策定、2022年に最終誘致計画書を提出する。BIEは提出を受け、現地実態調査を実施。2023年11月ごろ実施予定の「立候補国」のプレゼンテーション後、169の会員国の投票を経て開催都市が最終決定する。

釜山市と韓国政府は誘致に成功した場合、東北アジア最大の港の一つである釜山港の北港一帯(総面積 約309万㎡)で「人間、技術、文化～未来の合唱～」をテーマに、2030年5月1日から10月31日までの184日間にわたって博覧会を開催する。博覧会には、約160カ国から約5050万人(韓国人：約3774万人、外国人：約1273万人)が訪れると予想される。

■国際博覧会とは？

国際博覧会は主管機関である博覧会国際事務局(BIE)の規定に基づき、「登録博覧会」と「認定博覧会」に分けられている。「登録博覧会」は開催規模に制限がなく、開催期間は6か月以内。人類活動の広範囲に影響を及ぼすとされる発展と技術を対象に、幅広いテーマを決められる総合的で大規模な博覧会だ。一方「認定博覧会」は会場面積が25ヘクタール以内で、開催期間は3カ月以内となっており、テーマは特定で専門的なものに限られる。

韓国はこれまでに1993年に大田(テジョン)広域市、2012年に全羅南道(チョルラナムド)の麗水(ヨス)市で認定博覧会を開催したが、規模の大きい登録博覧会は未開催。日本では1970年の大阪万博、2005年の愛知万博(愛、地球博)、2025年開催予定の大阪・関西万博がそれぞれ登録博覧会だ。1975年の沖縄海洋博、1985年のつくば万博は認定博覧会に分類される。



1



2

①2030国際博覧会の釜山誘致を祈願し、釜山市江西区内の水田に描かれた「2030国際博覧会」の文字。
②2030国際博覧会の釜山開催実現のため、釜山市民や専門家の意見を聞くことを目的に開催された「第6回国際カンファレンス」の様子。

写真・権晟勳

釜山の海岸部に架かる7つの橋、観光名所に生まれ変わる

釜山市セブンブリッジ事業が本格化…広安大橋でバンジージャンプも

釜山広域市は1月21日、広安大橋(クァンアンテギョ)〈写真〉をはじめとする、釜山の海岸部にかかる7カ所の橋をつなぐ「セブンブリッジ」事業などを含む「国際観光都市 釜山」の基本計画を発表し、2025年までに各種観光インフラを整備していく方針を示した。

釜山市は昨年、韓国政府から「大韓民国 第1号 国際観光都市」に選ばれた。国から5年間で500億ウォン(約47億円)の支援を受け、「外国人観光客1000万人時代」「世界10大観光都市への躍進」を目標に掲げている。新型コロナウイルス感染症の終息後の観光客増加に備え、より多くの観光名所やレジャースポットなどを増やそうと、メインとなる五大推進戦略と74の個別事業を計画に盛り込んだ。

市は推進戦略を中心に、釜山だけの差別化されたコンテンツの世界的なレベル引き上げを目指す。第1弾として市の海岸線をつなぐ7つの橋を、釜山を象徴するランドマークとして観光商品化する「セブンブリッジランドマークプロジェクト」に取り組む。広安大橋には、流れるような光の演出を橋に施す「メディアファサード」事業を実施するほか、バンジージャンプやクライミングなどができるレジャースポットとして再生。釜山港大橋はウォーキングコースや野外ステージなどが設置される。乙淑島(ウルスクト)大橋では渡り鳥の観察などができる生態観光、加徳(カドク)大橋は漁業体験を商品化する。

市はこれ以外にも、外国人観光客がよりお得に旅行を楽しめるように「主要観光地無料公共Wi-Fi(ワイファイ)の普及」を進めるほか、「主要観光地スマート環境構築」「動く観光案内所運営」「釜山に特化したグルメ観光の基盤構築」などを実施する計画だ。



広安大橋の夜景。

写真提供・イメージトゥデイ